



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年4月27日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	13,608	△1.0	533	△54.9	555	△54.6	388	△51.6
28年12月期第1四半期	13,740	3.3	1,184	59.0	1,223	54.0	803	50.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年12月期第1四半期	13	85	—	—
28年12月期第1四半期	28	39	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	97,849	85.1	83,244	85.1	83,244	85.1
28年12月期	98,525	84.8	83,556	84.8	83,556	84.8

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 83,238百万円 28年12月期 83,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年12月期	—	24 00	—	24 00	—	48 00
29年12月期	—	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	24 00	—	24 00	—	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	64,500	7.1	5,300	38.8	5,400	35.0	3,900	37.3	139	04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2017年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期1Q	28,800,000株	28年12月期	28,800,000株
29年12月期1Q	751,168株	28年12月期	751,125株
29年12月期1Q	28,048,866株	28年12月期1Q	28,299,195株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	平成28年12月期 第1四半期累計期間	平成29年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	13,740	13,608	△131	△1.0%
営業利益(百万円)	1,184	533	△651	△54.9%
経常利益(百万円)	1,223	555	△668	△54.6%
四半期純利益(百万円)	803	388	△414	△51.6%

売上高は、平成28年4月に実施された薬価改定の影響があるなか、新製品の早期市場浸透及び主力品の市場拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長し13,608百万円と前年同期に比べ131百万円(1.0%)の減少にとどまりました。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」及び「リオナ錠(高リン血症治療剤)」が市場拡大再算定の影響を受けたものの、「レミッチカプセル」は販売数量の伸長により2,753百万円と前年同期に比べ502百万円(15.4%)の減少にとどまり、「リオナ錠」は市場浸透・拡大に注力したことにより1,219百万円と前年同期に比べ13百万円(1.2%)増加しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が1,426百万円と前年同期に比べ88百万円(5.8%)減少しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シダトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免疫療法薬)」は271百万円と前年同期に比べ82百万円(43.8%)増加しました。
- ・HIV感染症領域におきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が1,797百万円と前年同期に比べ1,092百万円(37.8%)減少しましたが、平成29年1月から販売を開始した後継品の「デシコビ配合錠(抗HIV薬)」は1,199百万円となりました。また、「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」が48百万円と前年同期に比べ766百万円(94.1%)減少しましたが、平成28年7月から販売を開始した後継品の「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は1,285百万円となりました。

一方、費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したこと等により6,802百万円と前年同期に比べ326百万円(5.0%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により6,272百万円と前年同期に比べ192百万円(3.2%)増加しました。

以上の結果、営業利益は533百万円と前年同期に比べ651百万円(54.9%)減少し、経常利益は555百万円と前年同期に比べ668百万円(54.6%)減少しました。四半期純利益につきましては、388百万円と前年同期に比べ414百万円(51.6%)減少しました。

(2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、97,849百万円と前事業年度末に比べ676百万円(0.7%)減少しました。これは、有価証券が2,603百万円、商品及び製品が613百万円増加しましたが、現金及び預金が2,127百万円、受取手形及び売掛金が1,500百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が614百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、14,605百万円と前事業年度末に比べ364百万円(2.4%)減少しました。これは、未払法人税等が545百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、83,244百万円と前事業年度末に比べ312百万円(0.4%)減少しました。これは、主に利益剰余金が284百万円減少したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は1,152百万円です。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な成果につきましては、以下のとおりです。

- ・当社が日本国内において販売中の「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルゲン免疫療法薬)」(開発番号:T0-203)につきまして、平成29年3月に小児適応追加に係る承認事項一部変更承認申請を行いました。
- ・東レ株式会社(以下、「東レ」)が製造販売承認を取得し、当社が日本国内において販売中の「レミッチカプセル」(提携:日本たばこ産業株式会社)につきまして、東レは、平成29年3月に新たな剤形として口腔内崩壊錠の製造販売承認を取得しました。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2017年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成29年2月2日「平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,393	20,266
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	7,091	6,477
受取手形及び売掛金	26,560	25,060
有価証券	11,102	13,706
商品及び製品	6,330	6,943
仕掛品	603	697
原材料及び貯蔵品	3,673	3,564
その他	2,368	2,595
流動資産合計	80,123	79,310
固定資産		
有形固定資産	5,752	5,577
無形固定資産	896	884
投資その他の資産	11,752	12,076
固定資産合計	18,401	18,538
資産合計	98,525	97,849
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,698	7,169
未払法人税等	767	221
賞与引当金	676	1,310
役員賞与引当金	47	15
返品調整引当金	2	4
その他	5,119	4,279
流動負債合計	13,310	13,000
固定負債		
退職給付引当金	637	662
その他	1,020	941
固定負債合計	1,658	1,604
負債合計	14,969	14,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	72,866	72,581
自己株式	△1,478	△1,479
株主資本合計	82,993	82,708
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	558	529
評価・換算差額等合計	558	529
新株予約権	4	5
純資産合計	83,556	83,244
負債純資産合計	98,525	97,849

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	13,740	13,608
売上原価	6,475	6,802
売上総利益	7,264	6,806
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,086	1,051
給料及び手当	1,311	1,296
賞与引当金繰入額	507	550
研究開発費	1,042	1,152
その他	2,132	2,220
販売費及び一般管理費合計	6,079	6,272
営業利益	1,184	533
営業外収益		
受取利息	17	7
受取配当金	0	0
為替差益	12	1
その他	8	13
営業外収益合計	38	22
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	1
営業外費用合計	0	1
経常利益	1,223	555
特別損失		
固定資産除却損	14	16
特別損失合計	14	16
税引前四半期純利益	1,209	539
法人税等	405	150
四半期純利益	803	388

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

2017年12月期 第1四半期決算 参考資料

I	サマリー情報	P.1
	① 経営成績	P.1
	② 財政状態	P.1
II	2017年12月期 第1四半期実績	P.2
	① 四半期損益計算書	P.2
	② 製商品別売上高	P.4
	③ 四半期貸借対照表	P.5
	④ 設備投資の状況	P.6
	⑤ 非資金項目	P.6
	⑥ 研究開発の状況	P.6
III	2017年12月期 業績予想	P.7
	① 損益計算書	P.7
	② 製商品別売上高	P.9
	③ 設備投資の状況	P.10
	④ 非資金項目	P.10
	⑤ 配当	P.10
	【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2017年4月27日



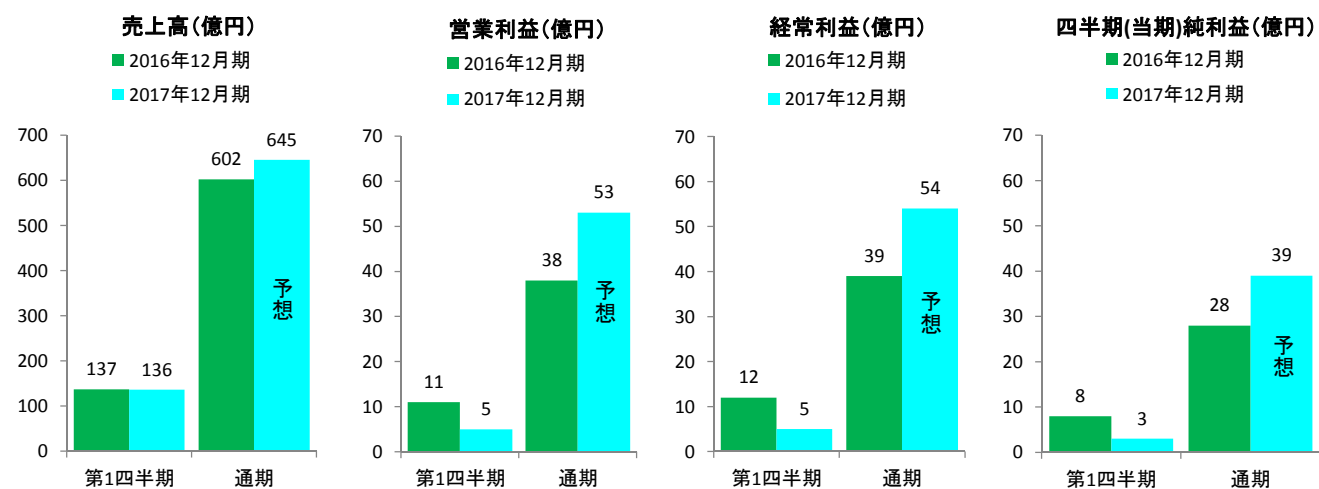
鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

※2017年12月期 業績予想については、2017年2月2日「2016年12月期決算 参考資料」で発表しております予想数値から変更はありません。

(単位:百万円)	2016年12月期 第1四半期 A	2017年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2016年12月期 実績	2017年12月期 予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	13,740	13,608	△131	△1.0	60,206	64,500	21.1
営業利益	1,184	533	△651	△54.9	3,819	5,300	10.1
経常利益	1,223	555	△668	△54.6	3,999	5,400	10.3
四半期(当期)純利益	803	388	△414	△51.6	2,839	3,900	10.0
(参考)							
研究開発費	1,042	1,152	110	10.6	4,654	4,820	23.9
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 28.39	13.85	△14.54		100.41	139.04	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 1.0	0.5	△0.5		3.4	-	
総資産経常利益率	(%) 1.2	0.6	△0.6		4.1	-	
売上高営業利益率	(%) 8.6	3.9	△4.7		6.3	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 0.8	0.4	△0.4		2.9	-	



② 財政状態

(単位:百万円)	2016年12月期 A	2017年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	98,525	97,849	△676	△0.7
純資産	83,556	83,244	△312	△0.4
自己資本比率	(%) 84.8	85.1	0.3	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,978.80	2,967.63	△11.17	

Ⅱ 2017年12月期 第1四半期実績

① 四半期損益計算書

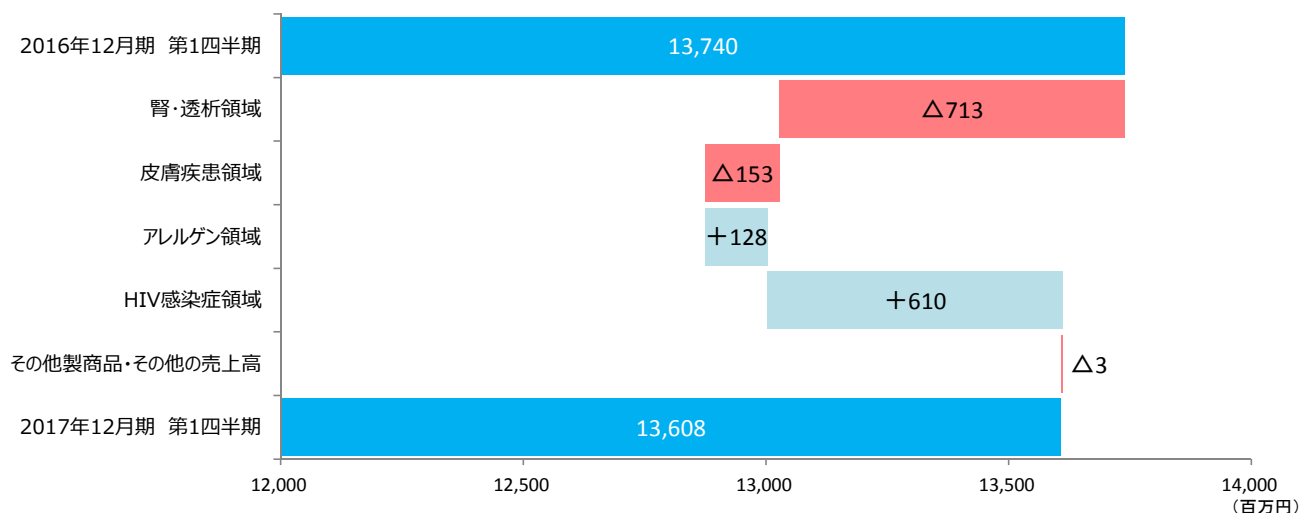
(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
売上高	13,740	13,608	△131	△1.0
製商品売上高	13,609	13,382	△227	△1.7
腎・透析領域	5,829	5,116	△713	△12.2
皮膚疾患領域	2,299	2,145	△153	△6.7
アレルギー領域	302	431	128	42.6
HIV感染症領域	3,761	4,371	610	16.2
その他	1,417	1,317	△99	△7.0
その他の売上高	130	225	95	73.5
売上原価	6,475	6,802	326	5.0
製商品売上原価	6,459	6,788	328	5.1
その他の原価	15	13	△1	△12.3
売上総利益	7,264	6,806	△458	△6.3
販売費及び一般管理費	6,079	6,272	192	3.2
販管費(研究開発費除く)	5,037	5,120	82	1.6
研究開発費	1,042	1,152	110	10.6
営業利益	1,184	533	△651	△54.9
営業外収益	38	22	△15	—
営業外費用	0	1	1	—
経常利益	1,223	555	△668	△54.6
特別損失	14	16	1	—
税引前四半期純利益	1,209	539	△670	△55.4
法人税等	405	150	△255	—
四半期純利益	803	388	△414	△51.6

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2016年12月期	2017年12月期	増減
	第1四半期	第1四半期	
	A	B	
売上原価	47.1	50.0	2.9
販売費及び一般管理費	44.3	46.1	1.8
研究開発費	7.6	8.5	0.9
営業利益	8.6	3.9	△4.7
経常利益	8.9	4.1	△4.8
四半期純利益	5.8	2.9	△2.9

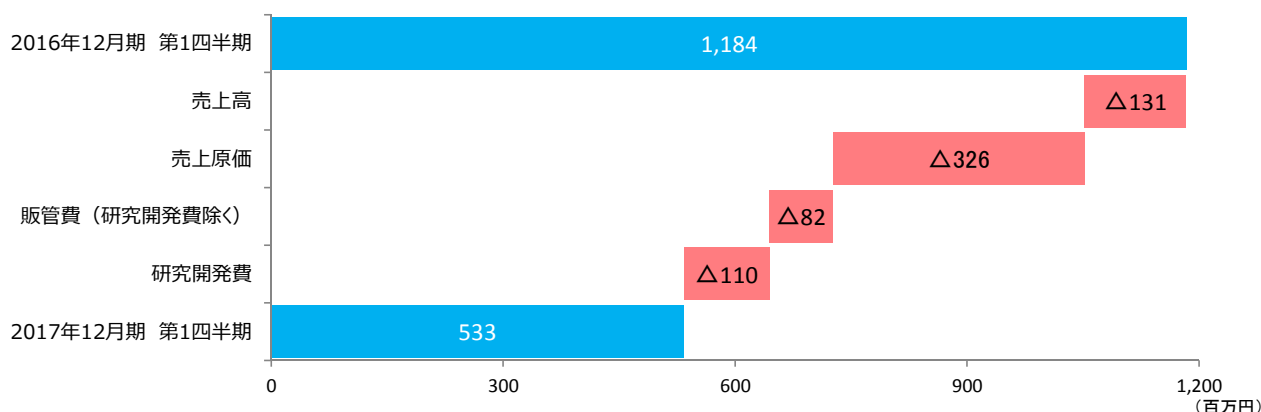
【対前年同期増減要因】

売上高（13,608百万円 対前年同期△131百万円）



主な増減要因				
製商品売上高	：薬価改定（市場拡大再算定含む）による減少、販売数量の伸長による増加			
腎・透析領域	：レミツカプセル	△502百万円	、注射用フサン	△136百万円
HIV感染症領域	：ガンボイヤ配合錠	+1,285百万円	、デシコビ配合錠	+1,199百万円
	スタビルド配合錠	△766百万円	、ツルバダ配合錠	△1,092百万円
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（533百万円 対前年同期△651百万円）



主な増減要因	
売上原価	：販売数量の伸長による増加
研究開発費	：共同開発費用の増加

経常利益（555百万円 対前年同期△668百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（388百万円 対前年同期△414百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2016年12月期 第1四半期 A	2017年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	13,609	13,382	△227	△1.7
レミッチカプセル	3,255	2,753	△502	△15.4
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	2,890	1,797	△1,092	△37.8
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※1	1,514	1,426	△88	△5.8
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ゲンボイヤ配合錠 ※2	—	1,285	1,285	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
リオナ錠	1,205	1,219	13	1.2
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※3	—	1,199	1,199	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ビオスリー	554	563	8	1.6
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	507	475	△31	△6.3
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	560	424	△136	△24.3
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	338	336	△2	△0.6
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	188	271	82	43.8
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ユリノーム錠 ※1	300	242	△57	△19.0
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
マグセント	237	223	△14	△6.1
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ゼフナート	209	209	△0	△0.0
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
スタリビルド配合錠	814	48	△766	△94.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
その他製商品	1,032	906	△126	△12.3

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2016年12月期 第1四半期 A	2017年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	3,825	3,631	△194	△5.1
自社品比率 (%)	28.1	27.1	△1.0	—

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第1四半期 B			
流動資産	80,123	79,310	△812	△1.0	81.1
現金及び預金	22,393	20,266	△2,127		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	7,091	6,477	△614		
受取手形及び売掛金	26,560	25,060	△1,500		
有価証券	11,102	13,706	2,603		
たな卸資産	10,606	11,205	598		
その他	2,368	2,595	227		
固定資産	18,401	18,538	136	0.7	18.9
有形固定資産	5,752	5,577	△175		
無形固定資産	896	884	△12		
投資その他の資産	11,752	12,076	324		
投資有価証券	3,877	4,236	359		
長期前払費用	6,486	6,432	△53		
その他	1,389	1,407	18		
資産合計	98,525	97,849	△676	△0.7	100.0
流動負債	13,310	13,000	△310	△2.3	13.3
買掛金	6,698	7,169	471		
未払金	3,178	3,055	△122		
未払法人税等	767	221	△545		
賞与引当金	676	1,310	634		
その他	1,990	1,242	△748		
固定負債	1,658	1,604	△53	△3.2	1.6
負債合計	14,969	14,605	△364	△2.4	14.9
株主資本	82,993	82,708	△284	△0.3	84.5
評価・換算差額等	558	529	△28	△5.1	0.6
新株予約権	4	5	1	25.7	0.0
純資産合計	83,556	83,244	△312	△0.4	85.1
負債純資産合計	98,525	97,849	△676	△0.7	100.0

主な増減要因

(流動資産)

受取手形及び売掛金	: 売上高の減少による減少
有価証券	: 金銭信託の取得による増加
たな卸資産	: 新製品の増加

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
設備投資額	136	128	△8	△6.2
有形固定資産	73	56	△17	△23.8
無形固定資産	62	72	9	14.4

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第1四半期	第1四半期		
	A	B		
減価償却費	347	299	△48	△13.9
長期前払費用償却費	251	262	11	4.4

⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤		Phase II				<ul style="list-style-type: none"> ・ケリックス社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 ・日本たばこ産業(株)が2014年1月17日に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠		Phase II / III 終了※				<ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		<ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2017年3月24日に製造販売承認申請
TO-206	スギ花粉症 (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		<ul style="list-style-type: none"> ・自社開発 ・2015年12月25日に製造販売承認申請

前回公表時(2017年2月2日)からの変更点

・TO-203(小児アレルギー性鼻炎)の国内製造販売承認申請

上記のほか、以下の契約を締結しております。

・2016年8月 Menlo Therapeutics社が開発を進めているニューロキニン1(NK-1)受容体アンタゴニスト(国際一般名: serlopitant)の日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約(日本たばこ産業(株)との共同開発)
 ・2016年10月 日本たばこ産業(株)が日本での臨床開発を実施しているJAK阻害剤「JTE-052」(開発段階: Phase II)皮膚外用剤の日本における共同開発及び販売に関する契約

Ⅲ 2017年12月期 業績予想

※2017年12月期 業績予想については、2017年2月2日「2016年12月期決算 参考資料」で発表しております予想数値から変更はありません。

① 損益計算書

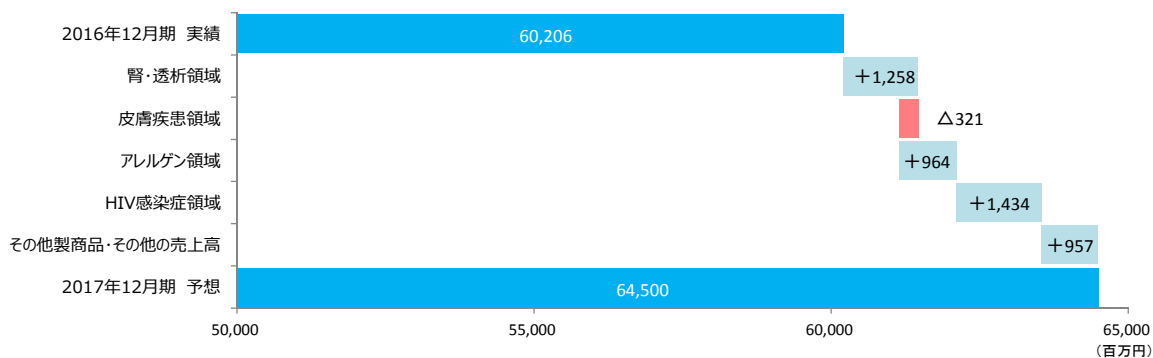
(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
売上高	60,206	64,500	4,293	7.1
製商品売上高	59,620	62,900	3,279	5.5
腎・透析領域	25,141	26,400	1,258	5.0
皮膚疾患領域	9,811	9,490	△321	△3.3
アレルギー領域	1,485	2,450	964	64.9
HIV感染症領域	17,225	18,660	1,434	8.3
その他	5,956	5,900	△56	△0.9
その他の売上高	586	1,600	1,013	173.0
売上原価	30,287	31,700	1,412	4.7
売上総利益	29,919	32,800	2,880	9.6
販売費及び一般管理費	26,099	27,500	1,400	5.4
販管費(研究開発費除く)	21,445	22,680	1,234	5.8
研究開発費	4,654	4,820	165	3.6
営業利益	3,819	5,300	1,480	38.8
経常利益	3,999	5,400	1,400	35.0
当期純利益	2,839	3,900	1,060	37.3

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2016年12月期	2017年12月期	増減 B-A
	実績 A	予想 B	
売上原価	50.3	49.1	△1.2
販売費及び一般管理費	43.4	42.7	△0.8
研究開発費	7.7	7.5	△0.2
営業利益	6.3	8.2	1.9
経常利益	6.6	8.4	1.8
当期純利益	4.7	6.0	1.3

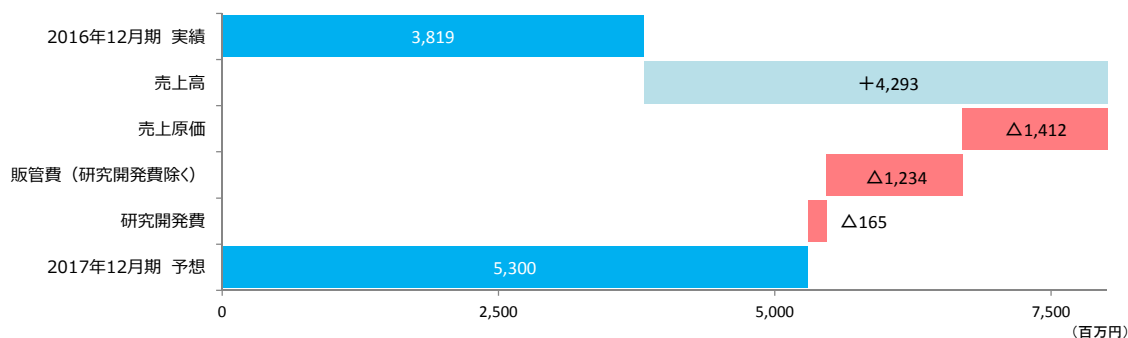
【対前期実績増減要因】

売上高（64,500百万円 対前期実績+4,293百万円）



主な増減要因				
腎・透析領域	: リオナ錠	+1,915百万円、	注射用アサン	Δ362百万円
皮膚疾患領域	: アンテベート	Δ247百万円		
アレルゲン領域	: シダトレン スギ花粉舌下液	+322百万円		
HIV感染症領域	: デンコビ配合錠	+6,750百万円、	ゲンボイヤ配合錠	+3,724百万円
	: ツルバダ配合錠	Δ7,014百万円、	スタリビルド配合錠	Δ1,971百万円
その他製商品・その他の売上高	: コ・プロモーション収入	+1,009百万円		
※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（5,300百万円 対前期実績+1,480百万円）



主な増減要因	
売上原価	: 売上高の増加
販管費（研究開発費除く）	: 販売促進費の増加

経常利益（5,400百万円 対前期実績+1,400百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（3,900百万円 対前期実績+1,060百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2016年12月期 実績 A	2017年12月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	59,620	62,900	3,279	5.5
レミッチ	13,645	13,600	△45	△0.3
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
リオナ錠	5,634	7,550	1,915	34.0
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※3	—	6,750	6,750	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※1	6,277	6,030	△247	△3.9
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ツルバダ配合錠	12,754	5,740	△7,014	△55.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ゲンボイヤ配合錠 ※2	1,865	5,590	3,724	199.6
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ビオスリー	2,455	2,550	94	3.9
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	2,178	2,150	△28	△1.3
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	2,462	2,100	△362	△14.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	1,352	1,360	7	0.5
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ゼフナート	1,275	1,360	84	6.6
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
シグトレン スギ花粉舌下液 ※1	937	1,260	322	34.4
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
マグセント	1,165	1,200	34	2.9
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
コリノーム錠 ※1	1,219	1,000	△219	△18.0
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠	2,371	400	△1,971	△83.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
その他製商品	4,023	4,260	236	5.9

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2016年12月期 実績 A	2017年12月期 予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	16,316	16,440	123	0.8
自社品比率 (%)	27.4	26.1	△1.3	—

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
設備投資額	891	1,192	300	33.7
有形固定資産	644	964	319	49.5
無形固定資産	246	228	△18	△7.7

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
減価償却費	1,339	1,240	△99	△7.4
長期前払費用償却費	1,018	1,056	37	3.6

⑤ 配当

		2016年12月期	2017年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
		実績 A	予想 B		
1株当たり配当金	(円)	48	48	0	0.0
配当性向	(%)	47.8	34.5	△13.3	-

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げるすることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起